

族人数・家族形態・収入・学歴) ②保育所利用実態について(通園時間及び方法・入園年数・利用時間帯・選択理由) ③保育所利用者の希望(保育時間・保育所の位置・困っている点など)である。

3. 保育所の選択理由の順位は各保育所の立地条件・入園資格・保育時間などの違いにより異なるが、全般的には、①保育所が自宅に近い。②保育時間が適当である。③とにかく子供をあずかってもらえるなどの順となっている。

保育所利用で困ることありと答えた人は40%で、理由は「園児が病気の時両親のどちらかが欠勤しなければならない」が一番多くついで、「保育時間が不適當」がみられる。

Ⅱ-13 共働き家庭における育児の場について ——保育所利用の場合——

奈良女大家政 ○木原 勝代
正田 洋子
近藤 公夫
北村 君

1. これまでの研究により共働き家庭において育児は主婦の就労を可能にするための重要な条件であることが明らかにされている。

本研究は住居管理学の立場から共働き主婦の社会的育児の場としての保育所の望ましいあり方を考えることを目的として、現在保育所を利用している共働き家庭を対象に調査・検討したものである。

2. 調査対象は奈良市内の保育所より、立地条件・保育時間などの異なる6保育所から選びだした共働き主婦計300名で、各保育所を通じてのアンケート調査法及び聞きとり調査法を用いた。

調査期間は1968年4月より7月まで。

調査内容は、①保育所利用者の家庭環境について(家